永代神楽祭のご案内

――御祭神の御遺徳を子々孫々に継承するために――

靖國神社

永代神楽祭（えいたいかぐらさい）のご案内

靖國神社におきましては、御祭神を慰霊顕彰申し上げるために日々のお祭りを心こめて奉仕しております。また、ご遺族や御祭神縁故の方々のご希望により、ゆかり深き御祭神奉慰のため永代神楽祭（命日祭）をも奉仕しております。

永代神楽祭は、毎年ご命日またはご指定の日に本殿にて御祭神名を奉上、御神楽を奉奏し、慰霊顕彰申し上げるお祭りです。

わが国は古来祖先を尊び、その徳を慕い、その祭祀を行うという美風があります。肉親に対する切なる想いをお持ちになりながらも、祖国の為に尊い生命を捧げられた御祭神の御遺徳、御心をいつまでもお偲びし、永代に亘ってお祀り致したいと存じます。

先の大戦が終わりてより早くも七十年以上が過ぎ、ともすると御祭神の御遺徳が忘れ去られようとしています。今こそ、雄々しくも散華された御祭神の御遺徳を子々孫々に継承するために、お一人でも多くの方々が永代神楽祭をお申し込み下さるようご案内申し上げます。

※永代神楽祭は一般崇敬者の方々をはじめ、戦友会単位（団体）でもご加入いただけますので、係までご相談下さい。

祭式次第

一 献饌の儀

御祭神が生前にお召し上がりになられた海の幸、山の幸を御神前にお供え致します。

二 祝詞奉上

御祭神のお名前を奉上し、「みたま安かれ」と祈念致します。

三 神楽舞

仕女が「みたま慰めの舞」を奉仕致します。

四 玉串拝礼

ご家族・団体の代表の方には玉串を奉り拝礼戴きます。お連れの皆様もご一緒に拝礼戴きます。

祭資料・・・・金十万円

ご遺族・一般崇敬者で個人名義の場合は、金十万円より承ります。
祭資料は永代に積み立て、永代神楽祭の基金と致します。
※戦友会単位（団体）でのお申し込みは、金五十万円より承ります。

お申し込み方法

添付の「靖國神社永代神楽祭申込書」に必要事項を記入の上、祭資料を添えてご来社戴くか、現金書留、払込取扱票（下の用紙）にてお申し込み下さい。払込取扱票の場合、「申込書」は別便でお送り下さい。

神楽奉奏月日

ご命日、またはご家族・ご縁故の方々が指定されたその日に奉奏されます。

ご参列案内

毎年前もってご案内状を差し上げます。ご家族・ご縁故の方々もご一緒に参列できます。代理の方が参列されても結構です。

永代神楽祭は永代にわたって御祭神を慰霊顕彰することを旨としておりますので、次代を担う方々をお誘い合わせの上ご参列戴ければ幸甚に存じます。本殿では胡床（椅子）の用意もございます。なお、参列の有無に関わらず、お申し込みの奉奏日には本殿に於て永代神楽祭を奉奏致します。団体にてお申し込みの方には、代表者宛に案内状を送付致します。

春秋の例大祭案内等について

お申し込み後に受領証、永代神楽祭請書を郵送し、第一回奉奏後には「永代神楽神靈」を授与致します。また、毎月社報『靖國』をお送りし、春秋の例大祭等にご案内致します。

●ご不明な点がございましたら左記までお問い合わせ下さい。

靖國神社社務所　祭儀部祭儀課

永代神楽祭で奉奏される御神楽

「みたま慰めの舞」

やすらかに ねむれとぞおもふ 君のため
いのちさゝげし ますらをのとも

香淳皇后より昭和十二年十一月三十日、戦歿者に対して賜った御歌で、昭和二十六年、元宮内省楽長多忠朝氏により、作曲・振付された神楽舞です。

靖國神社社務所

〒一〇二-八二四六
東京都千代田区九段北三丁目一番一号
電　話　〇三（三二六一）八三二六番
ＦＡＸ　〇三（三二六一）八三二〇番